

## 「はいさい、はいたい」 おもろまち駅 紙芝居で学ぶ



「かみしばいやー」さどやん(右)の紙芝居に見入る真嘉比幼稚園の園児ら。18日、那覇市のゆいレールおもろまち駅

真嘉比幼稚園

の「かみしばいやー」さどやん(左)が、しまくとろばを使つた昔ながら



渡山安博さんによる紙芝居が18日午前、那覇市のゆいレールおもろまち駅で開かれた。那覇市立真嘉比幼稚園(崎原永輝園長)の4、5歳児約90人が、しまくとろば満載のさどやん作「めかるうちの大冒険」の物語に聞き入った。

紙芝居は合間にクイズを挟みながら進んだ。子どもたちは「はいさい」「はいたい」などの基本的な言葉を楽しくおさらいした。崎原園長は「沖繩の言葉をできるだけ残せるように、みんなを使っていきましようね」と呼び掛けた。園児らは元気な声で、さどやんに「いっぺーにふえーでーびたん(大変ありがとうございました)」とお礼を述べた。